

おごせ 教育 Pick Up

平成29年度 学校教育プラン

越生町教育委員会では、「教育のまちおごせ」を目指し、平成29年度の学校教育プランを次のように定めました。

1. 確かな学力の育成

- 二学期制や土曜日授業の特色を最大限に生かして授業時数を確保し、新学習指導要領を見据えた教育計画を作成します。
- 35人以下の学級で、きめ細やかな指導を行います。
- 全国学力・学習状況調査や県学力・学習状況調査で学力を検証します。

2. 豊かな心の育成

- いじめを許さない意識の醸成と人権を尊重した教育を推進します。
- 不登校の解消に向け、スクールカウンセラー及びさわやか相談員、スクールソーシャルワーカーや関係機関との連携を図ります。
- 越生町の特色を生かした体験活動に取り組みます。



- 越生小学校と梅園小学校との合同行事（校外活動、授業等）を行い、連携を図ります。

3. 健やかな体の育成

- たくましさや粘り強さを養う体育活動を推奨します。
- 生活習慣の改善や課題に向けた取組の強化を図り学校体育活動を推進します。
- 学校給食を核に望ましい食習慣の確立を図り食育を推進します。



4. 学習環境の整備や時代の変化に対応する教育の推進

- 安全・安心で快適な学校を目指し、施設・設備の計画的な改修を図ります。
- コンピュータなど、情報機器の環境を計画的に整備します。
- 学習指導要領の改訂に伴い、新たに小学3年生から始まる外国語活動（英語教育）など、計画的に準備していきます。

5. 質の高い教育を推進するための教職員の育成

- 課題の発見・解決に向けた授業が実践できる指導力を身につけます。
- 越生小学校、梅園小学校、越生中学校の3校が、「知・徳・体」の9年間を見通した、小中一貫教育を推進します。

6. 越生町「3つの◎」の推進

- 越生町・越生町教育委員会が推進する「3つの◎」を励行します。

7. 学校応援団活動の推進

- 地域の教育力を活用し、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進します。
- PTA活動を支援し、保護者と教職員の連携のとれた活動を推進します。

8. 家庭教育支援体制の充実

- 学校と家庭が協力し、児童生徒の基本的な生活習慣や家庭学習習慣の確立を目指します。
- 子ども大学・越生を開校し、

9. 児童生徒の安心・安全の確保

- 地域の教育力を生かした越生ならではの学びの場を創設します。
(詳細は5月号にて)
- 通学の安全のため、ヘルメットの着用を奨励します。
- 通学路の危険箇所を点検し、関係各課と連携を図りながら安全を確保します。
- スクールガード（見守り隊）の協力やこども110番の家との連携を図り児童生徒の安全を図ります。



越生浪漫

No.99

鈴木金兵衛の札所巡拝碑
建立事業完了

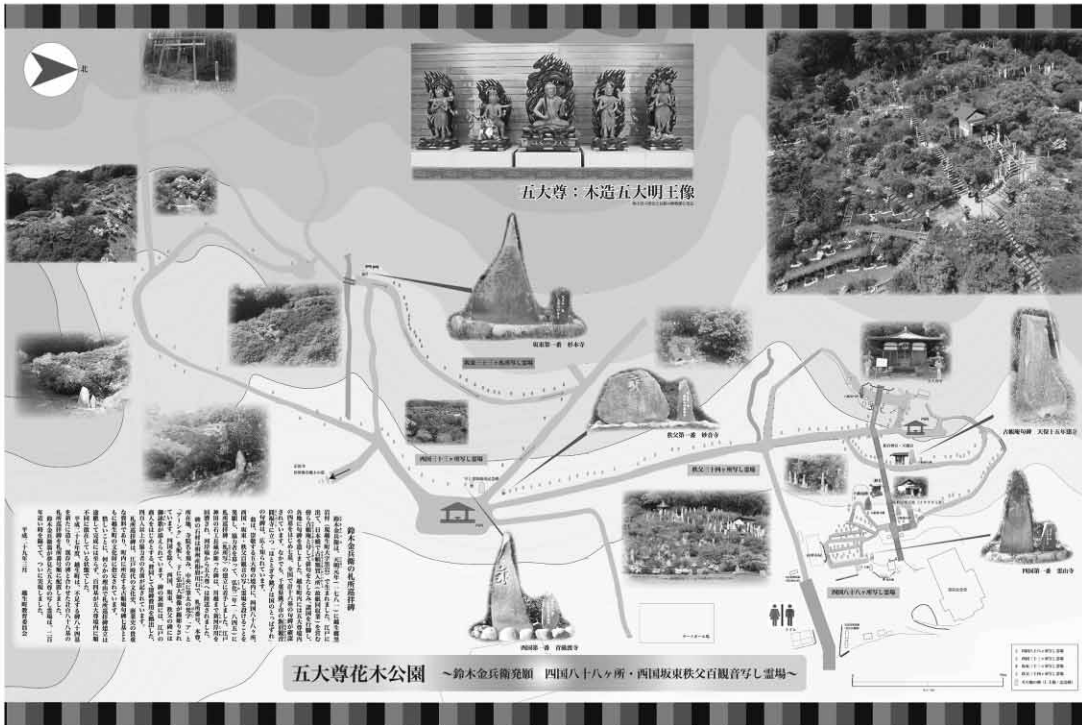
町は、平成27年度から、越生郷黒岩村生まれの江戸の商人、鈴木金兵衛の札所巡拝（札所巡拝碑）の整備を進めてきました。28年度は、案内板や指導標の整備とともに、仁王像を設置しました。

川越市の下新河岸観音堂の門前に、「阿」「吽」一對の仁王（金剛力士）が刻まれた根府川石の石碑が立っています。弘化三年（一八四六）の年紀と、鈴木金兵衛の名が記されています。五大尊に立つはずの碑が、新河岸川を遡り、ここで降ろされたまま、黒岩村に届かなかったのです。

新河岸には、仁王像と同様、五大尊に辿り着かなかった9基の札所巡拝碑も遺されています。到達しなかったが故に、新河岸舟運の貴重な歴史資料

となったと言えるでしょう。仁王像の建立をもって画竜点睛としたかったであろう金兵衛翁を思い、複製を造って建立することにしました。

仁王像と裏面の弘法大師像の拓本を採って転写し、実物の約半分の高さ約1mの碑を製作しました。



「五大尊花木公園案内板」の板面

野菜につく象虫の意味。ブラジル原産。1942年（昭和17年）ごろ岡山県で初めて発見され、現在は本州、四国、九州に発生しています。アブラナ科野菜、ニンジン、ホウレンソウなどの葉や茎を食べ、日本では雌だけで単為生殖をしています◆年1回の発生で、9月以降に播種・定植するハクサイ、ダイコン、ホウレンソウなどに成虫が飛翔し産卵します。1個体あたり1000卵の記録があり、秋にふ化して春以降に成虫になります。越冬は幼虫で行われ、ハクサイやコマツナ、雑草のアレチノギクやハルジオンなどの葉間に生息しています◆成虫は体長約10mm。赤黒褐色で鱗片と毛に覆われて光沢はなく、上翅には淡灰色のV字形の白

おごせ 昆虫と自然の館 通信 No.60

ヤサイゾウムシ

「コウチュウ目 ゾウムシ科」



ヤサイゾウムシの幼虫(下)と成虫(左)



い斑文があります。上翅の下には半透明の下翅が折り畳まれており、飛翔時は上翅をあげ、下翅を出して飛びます。成虫は葉の表面に球形の黄白色の卵を点々と産み付け、成熟幼虫は体長約10〜14mm、緑白色く緑色、無脚でゼン動しながら、葉上を移動します◆被害対策は、秋の播種期に成虫の移動阻止を目的に畑周辺に溝を掘ったり、防虫ネットをかけるなどの耕種的、物理的防除法を考えます。多発地では、播種時や定植時に防除用粒剤を施用します。（平井一男）